第7回 だざいふ景観賞の概要

市内の良好な景観形成に資する建築物等を表彰することで、太宰府市が推進している景観まちづくりの啓発を行うとともに、太宰府市内における景観水準の向上を目的としています。

各賞の概要

≪だざいふ景観大賞≫
全応募作品の中で最も優れた作品。物件単体の価値のみならず、市内周辺の景観形成のモデルとなり、すでに一定の効果を果たしているもので、将来にわたる景観形成においても示唆を与えると考えられるもの。
≪景観賞≫
単体としての景観形成上の価値があり、太宰府市の景観づくりに寄与しているもの。
≪市長賞≫
地域の景観づくりに功績のある物件に対し、市長からの感謝の意味を込めて贈るもの。
≪子どもからみた景観賞≫
小学校人気投票において最も投票数が多かったもの。

募集・選考

≪作品募集≫
・期間：令和４年５月１日～6 月 30 日
≪市民人気投票≫（審査のための参考資料）
・期間：令和４年７月 21 日～8 月 23 日
・方法：市内公共施設９ヶ所に応募作品一覧表を掲示し、来場者による任意投票
・投票総数：396 票
≪小学校人気投票≫（審査のための参考資料）
・期間：令和４年８月 25 日～9 月９日
・方法：市内小学校７ヶ所に応募作品一覧表を掲示、小学生による任意投票
・投票総数：1765 票
≪一次審査≫
・審査員：太宰府市景観・市民遺産審議会委員
・審査期間：令和４年 10 月４日～10 月 31 日
・方法：統一評価基準にて採点（委員各自）
≪最終審査≫
・審査員：太宰府市景観・市民遺産審議会委員
・最終審査：令和４年 12 月 26 日
・方法：第 26 回太宰府市景観・市民遺産審議会にて審議

後援

・福岡県
・一般財団法人福岡県建築住宅センター
・公益社団法人福岡県建築士会
・公益社団法人福岡県宅地建物取引業協会筑紫支部
・公益財団法人太宰府メモリアルパーク
（景観・市民遺産育成団体）

審査員講評

太宰府市景観・市民遺産審議会
会長　浅野　直人

第 7 回の景観賞は、特定の法人や個人が所有・管理していない景観も対象にしたため多くの候補のご推薦をいただけました。駅を降りるとすぐ目に入る天満宮の参道の景観は、永年の商店街の皆さんの景観づくりへのご協力で太宰府のシンボル景観が整えられてきました。大賞としての評価に値します。また、今回行った市内小学校での人気投票では大人の目とは大きく違った結果が現れました。そこで、特別賞として、「子どもからみた景観賞」として、国博の動く歩道を選びました。紅葉の竈門神社、緑豊かな観世音寺のクス並木。季節を選んで訪れると出会える景観、という意味で二度目の受賞ですが、尽きない景観の素材が太宰府市にあることを発見し続けたいものです。

過去受賞作品は
二次元コード読み取り
もしくは
「だざいふ景観賞」で検索！
（ページ ID：１１８６）

太宰府市
DAZAIFU CITY
都市整備部 都市計画課 景観・歴史のまち推進係
〒818-0198 太宰府市観世音寺一丁目１番１号
TEL 092-921-2121　FAX 092-921-1601
太宰府市公式ホームページ
http://www.city.dazaifu.lg.jp/

第７回 だざいふ景観賞

受賞作品紹介

ごあいさつ

日頃より太宰府市の景観行政にご協力いただき、心から御礼申し上げます。本市では平成22年に景観計画を策定し、景観まちづくりの普及啓発と水準向上を目的として始めました「だざいふ景観賞」は今回で第7回目となりました。

令和2年度はコロナ禍の影響で景観賞をやむを得ず中止しましたが、景観ウォークや景観パネル展といった新たな啓発事業を実施し、さらには景観賞で Web 投票を取り入れるなど、一歩一歩着実に景観まちづくりを進めております。

今回も市内外問わず多くの方からご応募いただき、応募数は過去最多を記録しました。また、従来の太宰府らしい景観だけでなく、次代を担う子どもたちの視点からとらえた景観にも焦点をあて、新たな賞として設定いたしました。

今後とも、本市ならではの景観まちづくりを推進し、『世界に冠たる令和の都　だざいふ』への昇華に向け取り組んでいきたいと考えておりますので、市民や事業者の皆様などのさらなるご理解ご協力をお願い申し上げます。

結びに、ご多忙のなか厳正な審査をいただきました景観・市民遺産審議会の委員の皆さま、並びに受賞者、応募者、関係者の皆さまのご理解ご協力に感謝いたしますとともに、今後益々のご活躍を心よりお祈り申し上げます。

太宰府市長
楠田大蔵

第７回 だざいふ景観大賞

太宰府天満宮の参道

【所在地】宰府２丁目、宰府３丁目
【関係団体】天満宮参道会
【選定理由】
　太宰府天満宮の参道では参詣者の利便性向上を図るため、通り沿いの建造物の１階の下屋庇を延長し、日除け、雨除けを供していたことが明治時代より確認され、おもてなしの心を感じられる景観は現代まで維持されている。参道の店舗を中心として結成された天満宮参道会では本市が景観行政団体となる平成 20 年以前より、独自ルールを定めこの良好な景観を保ってきている。過去・現在・未来にわたり市の良好な景観づくりに寄与するものとして、「だざいふ景観大賞」に選定された。

市長賞

観世音寺の参道とクス並木

【所在地】観世音寺５丁目
【所有者】観世音寺
【選定理由】
　観世音寺は、古代には大宰府の大寺として隆盛を極め、今でも境内に遺る礎石や江戸期の建物がその雰囲気を伝えている。その参道の両端には地元の人々が植樹したクス並木があり、真夏には日差しを遮る緑陰の涼しさで参詣する人々をもてなしている。この美しく統一感のある景観が未来へと残していきたい姿であるとして「市長賞」に選定された。

景観賞

宝満宮竈門神社の紅葉

【所在地】内山
【所有者】宝満宮竈門神社
【選定理由】
　宝満宮竈門神社は、近年では季節を問わず多くの方が参詣で訪れるようになった。秋には鳥居から本殿へと誘う紅葉が鮮やかに彩られ、夜のライトアップでは昼間とは異なる幻想的な雰囲気を体感することができる。宝満山を背景に豊かな自然と調和している姿が古都太宰府の風景を感じられるものとして、「景観賞」に選定された。

子どもからみた景観賞

九州国立博物館の動く歩道

【所在地】石坂４丁目
【所有者】九州国立博物館
【選定理由】
　市内７校の小学校で実施した「小学校の人気投票」において１位を獲得した物件。空間の色彩が変化し幻想的である点が期待や高揚感を与えることから、子どもたちの人気を得た。これからの将来を担う子どもたちが明るい未来を感じられる景観であるとして「子どもからみた景観賞」に選定された。